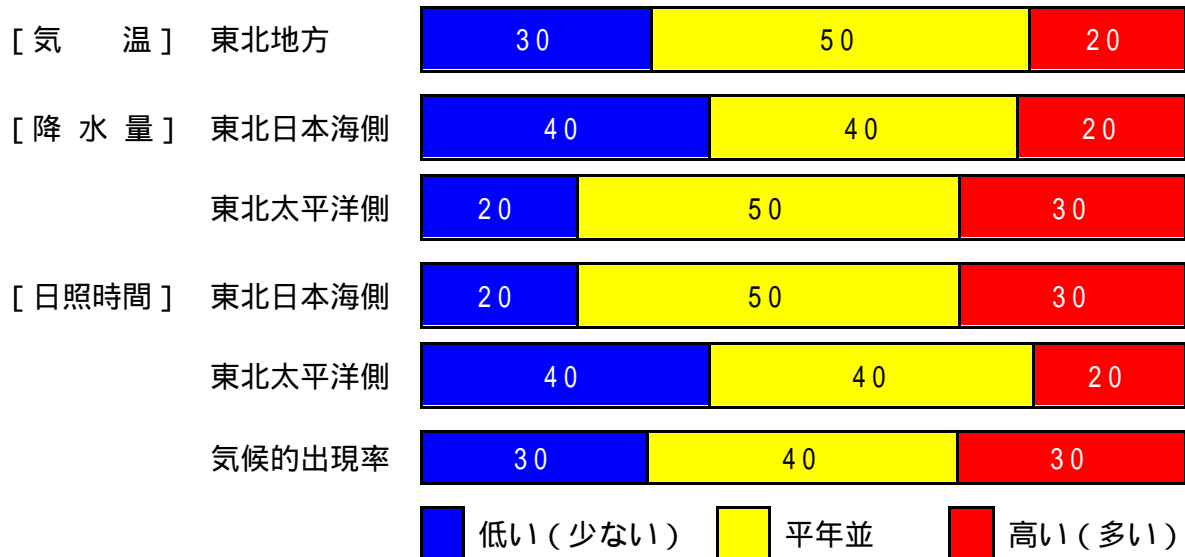


## 東北地方 1 か月予報の解説（予報期間：5 月 6 日～6 月 5 日）

平成 12 年 5 月 5 日 仙台管区气象台

### 1．向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）



[ 気 温 ]: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。次に大きい可能性は「低い」で、その確率は 30％です。「高い」の確率は 20％と小さい。

[ 降 水 量 ]: 東北日本海側は「平年並」か「少ない」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ 40％です。「多い」の可能性は 20％と小さい。

東北太平洋側は「平年並」の可能性が最も大きくその可能性は 50％です。次に大きい可能性は「多い」で、その確率は 30％です。「少ない」の確率は 20％と小さい。

[ 日照時間 ]: 東北日本海側は「平年並」の可能性が最も大きくその可能性は 50％です。次に大きい可能性は「多い」で、その確率は 30％です。「少ない」の確率は 20％と小さい。

東北太平洋側は「平年並」か「少ない」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ 40％です。「多い」の可能性は 20％と小さい。

### 2．予想される天候の特徴

（もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。）

向こう 1 か月

東北地方は、この期間低気圧と高気圧が交互に通じ、天気は周期的に変化するでしょう。東北太平洋側では、一時湿った東風の影響で天気がぐずつく時期があるでしょう。寒暖の変動が大きく、降霜の恐れもあります。

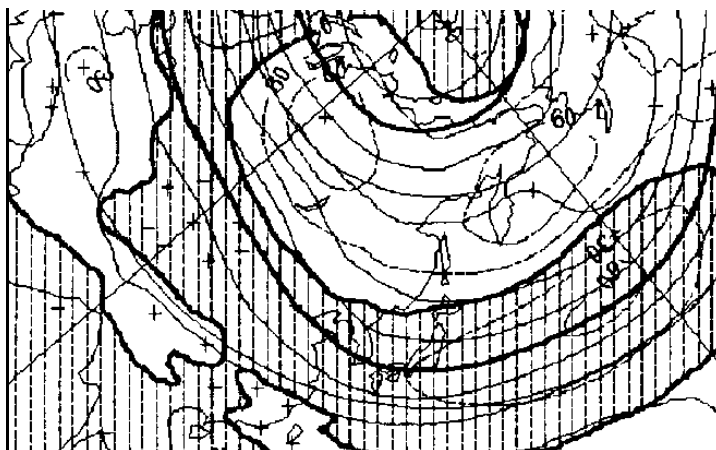
平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数は、東北地方で約 20 日です。

## 各予報期間の天候の特徴

- 1 週目…………… 7 日から 8 日にかけてと期間の終わり頃は、上空の寒気や低気圧の影響で天気の流れるところがあるでしょう。その他の日は、日本海側では晴れますが、太平洋側では東海上からの湿った東風の影響で、曇りの日が多い見込みです。  
平均気温は平年並の見込みです。  
平年の晴れ日数は東北地方で約 5 日です。
- 2 週目…………… 低気圧と高気圧が交互に通り、天気は周期的に変化するでしょう。  
(5 月 13 日～5 月 19 日) 平均気温は平年並の見込みです。  
平年の晴れ日数は東北地方で約 5 日です。
- 3～4 週目…………… 低気圧と高気圧が交互に通り、天気は周期的に変化するでしょう。  
(5 月 20 日～6 月 2 日) 湿った東風の影響で東北太平洋側では一時天気がぐずつく見込みです。  
平均気温は平年並の見込みです。  
平年の晴れ日数は東北地方で約 8 日です。

## 予想される天候に関する循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

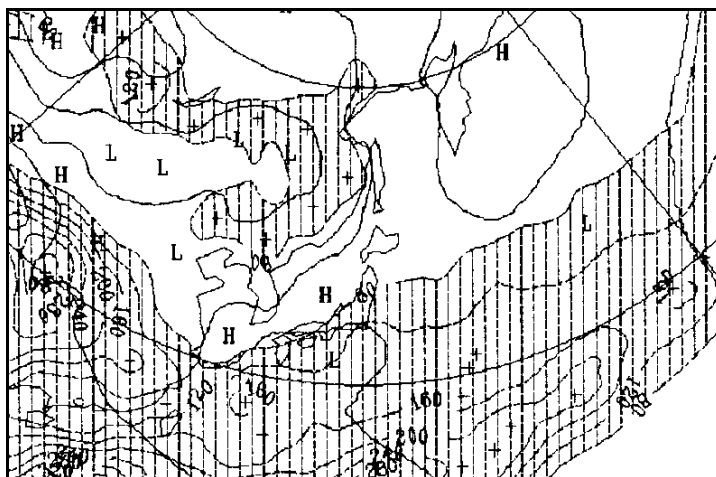


月平均の 500hPa 高度・偏差  
(等高線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差)

### ・ 500hPa 高度・偏差

月平均でみると、日本付近の中緯度帯は日本の東海上に中心をもつ負偏差に広く覆われる。一方、極東域の高緯度帯は、カムチャッカ半島付近とバイカル湖の西に中心をもつ正偏差に覆われる。

週別（図略）でもほぼ同様の傾向を示が、3～4 週目は太平洋高気圧がやや強まり、日本の南の前線帯は北上傾向。



月平均の地上気圧と降水量  
(等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上)

### ・ 地上気圧と降水量

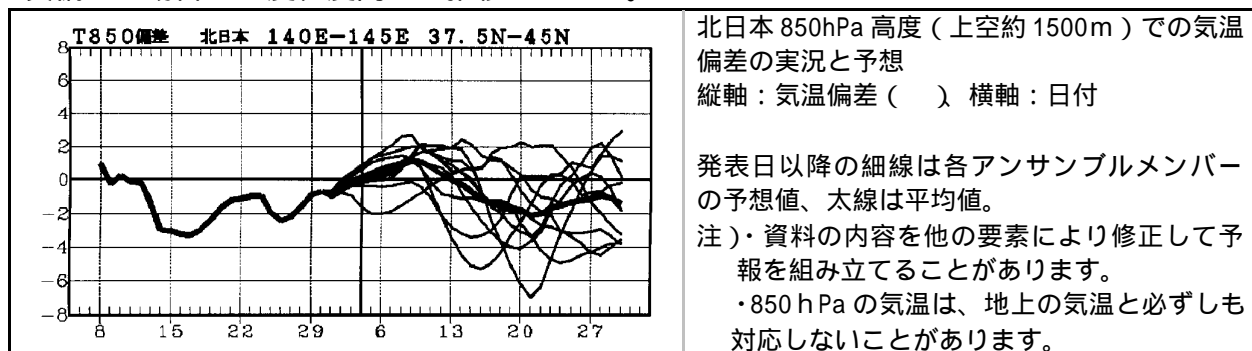
月平均でみると、日本の南から東シナ海にかけて前線帯に対応する降水域がひろがる。但し降水の中心は日本のはるか南海上。また、カムチャッカ半島の東には高気圧があり、東北太平洋側では湿った東風の影響を受ける時期がある見込み。

週別（図略）では、3～4 週目に本州南の降水域の中心が北緯 30 度付近まで北上する。

### 3．北日本 850hPa の気温平年差の実況と各アンサンプルメンバーの予想

北日本 850hPa の気温平年差は、アンサンプルメンバーの平均でみると、予報期間 1 週目は平年並～平年より高めだが、2 週目以降平年より低めに経過する。ただし、1 週目後半以降メンバー間のばらつきが大きくなる。

なお、最近の実況経過では、東北地方の地上気温平年差は、北日本 850hPa の気温平年差が負偏差の場合は 2 度程度高めに推移している。

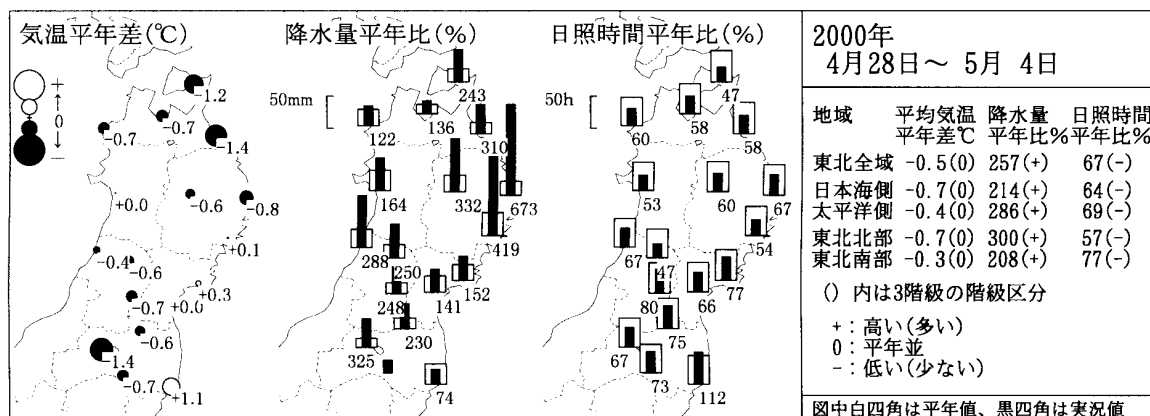


注：1 か月予報では、よく似た初期値から出発した 10 個の数値予報結果のパラッキ具合から予報の信頼度や確率を計算します（この手法をアンサンプル予報といい、10 個の予報結果のそれぞれをアンサンプルメンバーといいます）。一般に予報結果がばらつかないほど、大気の流れが予測しやすい状態にあると考えられます。このような状態の時は、信頼度が高くなり、確率の大きな予報を出すことができます。

### 4．最近 1 週間（4 月 28 日～5 月 4 日）の天候の経過

この期間、上空に寒気を伴った低気圧の影響で東北北部を中心に曇りや雨の日が多かった。特に 2～4 日にかけては大気の状態が不安定になり、各地で雷雨となった。岩手県では沿岸部を中心に記録的な大雨となり、列車の運休など交通障害が発生した。3 日の日降水量は、宮古で 119.5mm、大船渡で 124.0mm（5 月として第 2 位）、盛岡で 76.0mm（5 月として第 1 位）を観測した。

平均気温は、東北地方で平年差-0.5℃と平年並だった。降水量は、東北地方で平年比 257%と平年より多かった。日照時間は、東北地方で平年比 67%と平年より少なかった。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）